

平成29年度地方創生推進会議における効果検証等概要

1. 【小田原市まち・ひと・しごと創生総合戦略】

・「子育てのしやすい環境を整える」にあるKPIに関してだが、一つに女性の社会進出が非常に進んでいる、就業率が高まっている状況がある。小田原市内をみてもここ5年程度で就業率が5ポイントほど上がっている。そうした中、待機児童を限りなく0にしていくという目標のもと、保育の量を拡大していくことに努めている。

・KPIについては、中間的であっても、実績を挙げているものがある。積極的に周知を。

2. 【地方創生関連交付金】

・加速化交付金事業に設定されているKPIの達成度と取組事業の相関関係が捉えにくい。例えば忍者関連の取組をやってそれによって観光客がどれだけ増えたのかなど。実際どういう効果があったのかなど。KPIが広い視点で目標（成果目標）設定されているので、難しいのかもしれないが。

・KPIに掲げられている観光入込客数が伸びた理由としては、天守閣リニューアルの影響や箱根の火山活動が落ち着いたことがある。

・日本忍者協議会への拠出を行っている事業だが、使い道はイベント関係もあるように思える。イベントは一過性であるので、協議会に頼り過ぎずに小田原市として忍者コンテンツを充実させ、魅力を発信させていく方向に特化させたほうがよいのでは。イベントを一緒にやる程度ではあまり意味をなさない。200人、300人の人を相手にイベントをやってもさほど効果が限定的である。